ver.2.1

ドライブレコーダー「ドラドラ」DD-01

取扱説明書

ドラドラ DD-01をお買い上げ頂き、まことにありがとうございます。
お使いになる前に、この取扱説明書をよくお読み頂き、取り付け方法、使用方法、注意点等をよくご理解のうえ、正しくお使い下さい。
また、本書は、読み終えた後もいつでも見られるところに保管し、本製品を効果的に、また楽しく活用するためにお役立て下さい。

JAF Mate

〈 故障に関するお問い合わせ 〉

故障に関するお問い合わせの前に、本取扱説明書をご覧ください。

▶ 32ページ「故障かな?と思ったら」

また、ホームページにも、情報を掲載しています。あわせてご覧ください。

▶ ドラドラサイト http://www.drive-drive.jp/

〈 それ以外のお問い合わせ 〉

■ JAF MATEサポートセンター 0570-088-108
ナビダイヤルがご利用になれない場合は、03-3513-6564
土日祝を除く10時～13時、14時～17時

※「ドラドラサイト（http://www.drive-drive.jp/）」には、製品のFAQだけでなく、製品の詳しい情報やソフトウェアーのアップデート情報なども掲載しています。

ドライブレコーダー「ドラドラDD-01」
製造／CBC株式会社 東京都中央区月島2-15-13
企画・販売／株式会社JAF MATE社　東京都港区虎ノ門3-25-2 BS虎ノ門ビル4F
Made in Korea

目　次

CONTENTS

本製品の仕様及び外観は、改良のため、予告無く変更することがあります。ご了承下さい。

ご使用上の注意

ご使用の前に、この「ご使用上の注意」をよくお読みのうえ、正しくお使い下さい。また、注意事項は危害や損害の大きさに応じて、誤った取り扱いをすると生じる、または想定される内容を「警告」・「注意」の二つに分けて記載します。

⚠ 警告	警告を無視した取り扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う原因となる可能性があります。
⚠ 注意	注意を無視した取り扱いをすると、正常に動作しなかったり、使用者が傷害や物的損害を被る可能性があります。

⚠ 警告

- 本製品を分解・改造、または水につけたり、水をかけたりしないで下さい。火災・感電・故障の原因となります。
- 運転者は走行中に本製品を絶対に操作しないで下さい。自動車事故の原因となります。必ず同乗者の方が操作を行って下さい。
- 本製品は、運転や視界の妨げにならない場所に取り付けて下さい。また、自動車の機能（エアバッグ等）の妨げにならない場所に取り付けて下さい。自動車事故や傷害、故障の原因となります。
- 本製品が破損・故障した場合、また熱くなる、焦げ臭い、煙が出る等の異常時は、すぐに電源を切り、使用を中止して販売店に点検・修理を依頼して下さい。そのまま使用したり、内部等に触れると、火災・感電・取り付けた車の故障の原因となります。
- 本製品を医療機器の近くで使用しないで下さい。電磁波により医療機器に悪影響を与える可能性があります。

⚠ 注意

- 本体の取り付け位置は、道路運送車両法に基づく道路運送車両の保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部(ルームミラー裏側)へ設置して下さい。
- フロントガラスの汚れ、雨天時の水滴などにより記録した映像が見づらくなることを防ぐためには、ワイパーの可動範囲に本製品を取り付けて下さい。
- 太陽等の高輝度の映像を記録すると、黒点のように映ることがありますが製品の異常ではありません。
- 本製品を取り付ける際には、取り付けるガラス面の汚れをきれいに拭き取って下さい。また取り付け後は、取り付け状態に問題がないかをよく確認し、その後も定期的に点検を行って下さい。取り付け状態に不備があると、走行時の振動等で本製品が脱落し、破損・故障する可能性があります。
- 本製品近くにGPS機能を持つ製品やVICS受信機を設置しないで下さい。誤作動を起こす可能性があります。
- 本製品の10cm以内にTVアンテナ(地デジ含む)等、放送受信アンテナを設置すると、受信感度の低下やチラつき・ノイズの原因となる可能性があります。
- 本製品を落としたり、強い衝撃を与えないで下さい。故障の原因となります。
- 本製品は幼児等にはふれさせないで下さい。

⚠ 注意

- 本製品は、使用方法に間違いがない場合でも、映像やデータの記録を完全に保証するものではありません。万一、映像やデータの記録ができなかった場合も、製造者、販売者、販売店は一切の責任を負いません。
- 本製品をいたずら等、悪意を持った目的では使用しないで下さい。記録した映像やデータの使用方法によっては他人の法的な権利を侵害する可能性があります。本製品で記録した映像やデータの内容、それによって起因した事項については、本製品の製造者、販売者、販売店は一切責任を負いません。
- 本製品を有効に使用するには、規定のパソコン・SDカードリーダーが別途必要になります（17ページ、35ページ参照）。
- 本製品はDC 12/24V車専用です。それ以外での使用は故障の原因になります。
- 本製品のハードウェアー、ソフトウェアーの知的財産権は製造者が保有しています。無断複製等は、関係法規に基づき、民事上の損害賠償及び刑事処罰の対象となります。
- 炎天下等で車内温度が極めて高い場合は、正常に作動しないことがあります。その際は、窓を開け車内の温度を下げてからご使用下さい。
- 設定された日時を定期的に確認してください。日時がずれている場合は、27ページ「日時設定」を参照して再設定を行って下さい。
- 本製品には、時計機能のための電池が内蔵されています。正しく設定しても、記録された映像のファイル名が実際の録画日時と大幅に異なるようになった場合は、この電池の寿命です。販売店へご連絡いただければ有償にて交換いたします。
- 下記のような取り扱いをした場合、画像やデータが破損するおそれがあります。
  - ・SDカードまたは本体に静電気や電気的なノイズが加わった場合。
  - ・SDカードを水にぬらしたり、曲げたり、強い衝撃を与えた場合。
  - ・パソコンでの操作時に誤った取り扱いを行った場合。
  - ・長時間使用しなかった場合。
  - ・消耗した内蔵バッテリーを使用し続けた場合。
- 一部の自動車（特に輸入車に多い）は、エンジンを停止してもシガーソケットに常時電源が供給される仕様になっています。エンジン停止時にシガーソケットの電源がオフになることが確認できない場合は、降車される際に、シガーソケットから電源ケーブルを抜いて下さい。
- 車を整備工場等に入庫する際には、電源ケーブルを抜いて下さい。

⚠ 注意

- SDカードを抜く時は必ず電源が切れていることを確認して下さい。 SDカードに記録が行われている際に抜くと、画像やデータの損傷及び本体故障の原因となります。
- SDカードは指定された以外の方向に、無理に差し込まないで下さい。故障や破損の原因となります。
- SDカードには寿命があります。万一、SDカードに異常が発生した場合、ドラドラ付属SDカードと同じものをご使用下さい（方法は31ページ「新しいSDカードを購入したら」をご覧ください）。

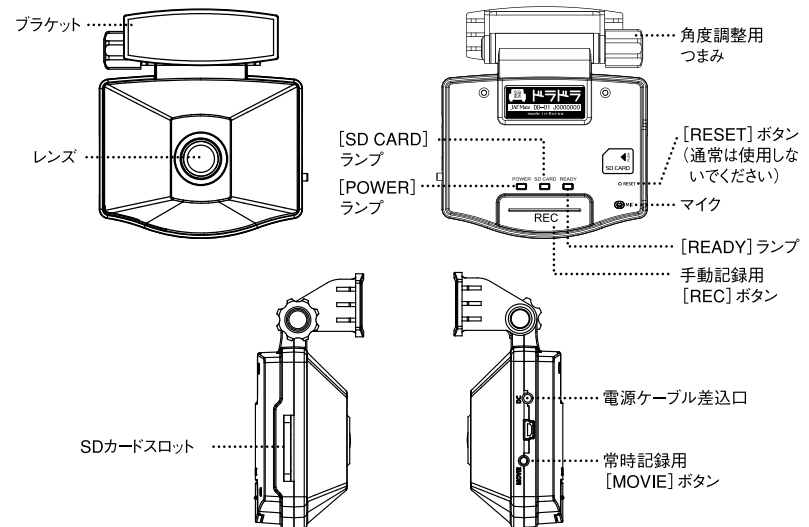
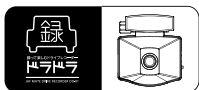
万一の事故発生時に映像やデータが記録されていなかったり、破損していた場合でも、本製品の作動有無、使用者の事情に関わらず、一切の責任を負いかねますのでご了承下さい。

※ 本製品は事故発生時の参考資料として使用することを目的とした製品です。本製品で記録された映像やデータは、裁判等の証拠として効力を保証するものではありません。

同梱品

① 本体　② SDカード　③ マウント　④ 電源ケーブル　⑤ 取扱説明書

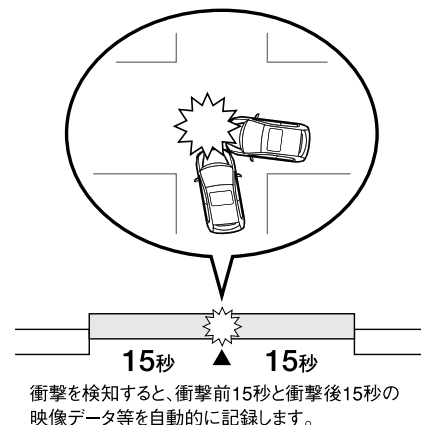
※開封時には、製品本体および本体付属品の内容を必ずご確認下さい。

製品の各部名称

ドラドラでできること

ドラドラでは、3つの記録モードで映像と加速度データ等が記録できます。撮影した映像は、付属SDカード内蔵のソフトウェアーで再生することができます。

衝撃発生時の映像及びデータの自動記録

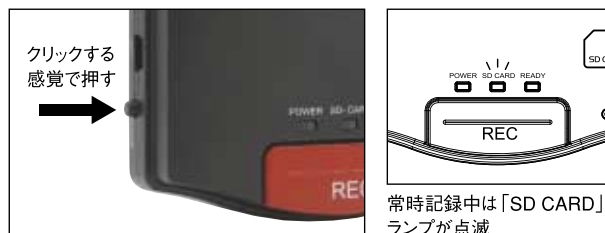
車両への衝撃が発生するとこれらを自動で感知し、衝撃前15秒、衝撃後15秒の映像と日時及び加速度データ等を自動記録します。
自動車の事故、急ブレーキ、急カーブ、荒い路面等の走行で、本体に衝撃検出レベル以上の衝撃が加わると自動記録が作動します。衝撃検出レベルは、あらかじめ標準的な設定がされていますが、変更もできます（26ページ参照）。
衝撃検出レベルが小さいと軽いブレーキの操作でも衝撃として検出され頻繁に自動記録が作動し、衝撃検出レベルが大きいと軽微な接触事故の場合は自動記録が作動しない場合があります。

衝撃を検知すると、衝撃前15秒と衝撃後15秒の映像データ等を自動的に記録します。

［REC］ボタンによる手動記録

衝撃の強さに関係なく映像を記録する機能で、本体の裏面にある［REC］ボタンを押すと、押す前15秒、押した後15秒の映像と日時及び加速度データ等を記録します。軽微な接触事故等で自動記録が作動しない場合は、この機能で記録が行えます。また、ドライブ中に景色を記録したい場合等にも、この機能を利用できます。

［MOVIE］ボタンによる常時記録

本体の側面にある［MOVIE］ボタンを押すと、映像と加速度データを記録し続けます。常時記録中は［SD CARD］ランプが点滅します。映像と加速度データはおよそ60秒ずつ分割されてSDカードに保存されます。付属SDカードではおよそ50分間の連続記録が可能です。常時記録中にもう一度［MOVIE］ボタンを押すと、常時記録が終了します。

常時記録中は「SD CARD」ランプが点滅

⚠ 注意

- 常時記録を開始する際は、［MOVIE］ボタンをクリックするように押して下さい。長押しすると、下記の機能が作動します。
  - ・LEDランプが3つとも点灯している正常動作時に［MOVIE］ボタンを長押しすると、［READY］ランプが点滅し、本体内の映像データをSDカードにコピーする「転送機能」が作動します（29ページ参照）。
  - ・SDカードを挿入しているにもかかわらず、「ピピピ」というアラート音が10回鳴って［SD CARD］ランプが消灯した時に［MOVIE］ボタンを長押しすると、SDカードのフォーマット機能が作動します（33ページ参照）。
- 電源を入れると［MOVIE］ボタンを押すことなく、自動で常時記録が作動するように設定することもできます（25ページ参照）。
- 常時記録中であっても、衝撃を検出すると自動記録が、［REC］ボタンを押すと手動記録が作動します。この際、自動記録・手動記録のデータをSDカードにコピーする数秒間、常時記録が中断されますが、コピー完了後は、再度［MOVIE］ボタンを押すことなく、常時記録が再開されます
- 常時記録中、衝撃を検出しても自動記録が作動しないように設定することもできます（25ページ参照）。

映像及び加速度データの閲覧

SDカード内蔵のソフトウェアー「ドラドラ・マネージャー」を使って、記録された映像と加速度データを見ることができます。ドラドラ・マネージャーでの閲覧方法は、16ページから詳しく記載しています。

映像再生専用のドラドラ・プレーヤーで再生する方法

ドラドラで録画した動画は、映像再生専用ソフト「ドラドラ・プレーヤー」で閲覧することもできます。ドラドラ・プレーヤーはインストール不要のソフトで、SDカード上から直接起動することができます。

1. SDカードの［PROGRAM］内にある［DORADORA Player.exe］をダブルクリックします。
2. ドラドラ・プレーヤーのアイコンの機能は、ドラドラ・マネージャーのアイコンの機能と同じです。ファイルを開くボタン またはSDカードのデータを開くボタン をクリックして、下のように記録された映像を動画として再生できます。

ドラドラを車に取り付ける

ドラドラの取り付けは、以下の4つの手順で誰でも簡単に行えます。特別な工具などは一切不要です。ドラドラと付属品だけを車に持ち込んで取り付けることができます。

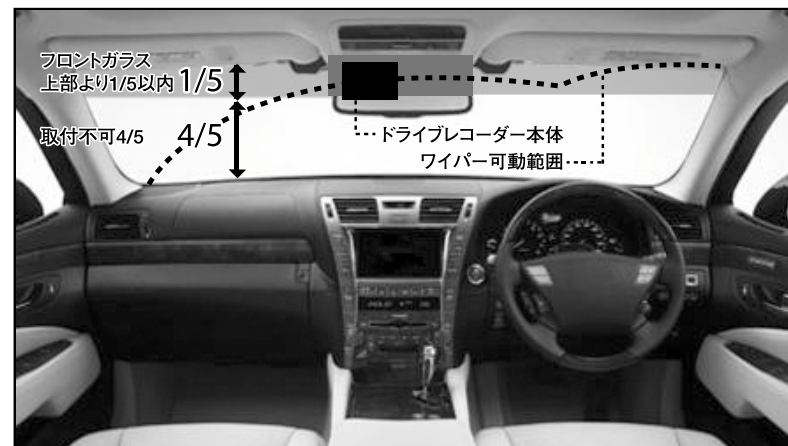
本体を車に取り付ける（11〜12ページ）

電源ケーブルを固定する（13ページ）

動作確認を行う（14〜15ページ）

完　了

⚠ 注意

初めて電源を入れる際には、必ず、付属SDカードを挿入したまま電源を入れ、すべてのランプが点灯するまで電源を切らないで下さい。詳しくは「動作確認を行う」（14ページ）をご覧下さい。

取り付け位置

※ ■の範囲へドライブレコーダーを取り付けて下さい。運転席から見て、ルームミラーの陰になり、視界の妨げにならない場所に取り付けます。

⚠ 注意

- 本体の取り付け位置は道路運送車両法に基づく道路運送車両の保安基準により設置場所が限定されています。運転者の視界の妨げにならないように、フロントガラス上部より1/5以内のルームミラー裏側へ設置して下さい。その際ミラーの調整ができる位置に取り付けて下さい。
- ワイパーの可動範囲に本製品を取り付けることをおすすめします。範囲外に取り付けると雨天時十分な映像が記録できない可能性があります。
- TVアンテナ等、放送受信アンテナ付近に設置すると、受信に支障が生ずることがあります。
- 製品を取り付ける際は、エアバッグ等安全装置の妨げにならないように取り付けて下さい。

取り付け方法

①本体上部ブラケットの両面テープの剥離紙をはがします。

▼

②本体をフロントガラスに貼り付け、力を入れてしっかりと圧着させます。

〈注意〉

・取り付け位置をよく確認し、貼り付けるガラス面をきれいに拭き、乾燥させます。ガラス面が濡れていたり、油分が残っていると十分に接着できず、本体脱落の原因となります。

▼

③本体が地面に垂直になるように、角度調節用つまみを緩めて角度を調整します。調整が終わったら角度調整用つまみを締めて、しっかりと固定して下さい。

〈注意〉

・フロントガラスの傾斜状態によっては、垂直にならない場合もありますが、その場合でも、ドラドラは天地方向に十分な画角がありますので、やや上向き、やや下向きでもお使いいただけます。

▼

④電源ケーブルをシガーソケットに接続します。

〈注意〉

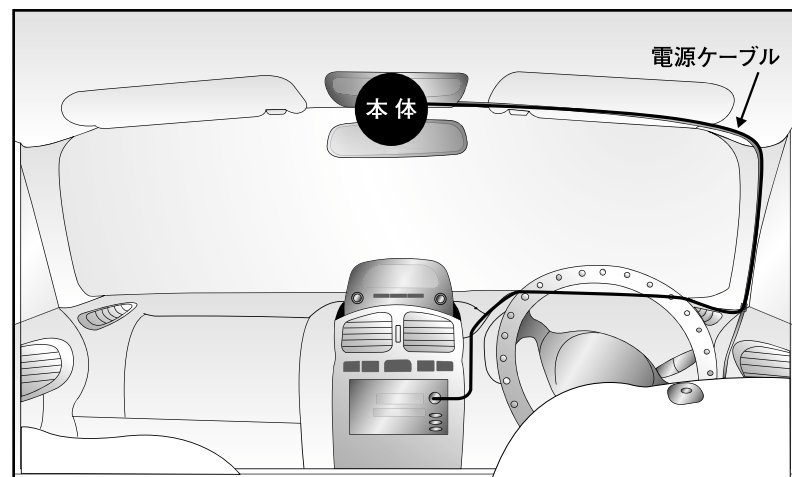
・本体の電源を入れる前に、付属SDカードが挿入されていることを確認して下さい。

・SDカードの抜き差しは、必ず電源を切って［POWER］ランプが消えた状態で行ってください。本体に電源が入った状態でSDカードを抜き差しすると、映像等記録データの破損や故障の原因となります。

⚠ 注意

本体を取り付ける際は、水平な場所に車を停めて地面に垂直に取り付けて下さい。
本体を取り付ける前に、貼り付ける位置のガラス面をきれいに拭いて下さい。
車の電源を入れる時、ランプ及びブザー音が鳴ることを確認して下さい（15ページ「ブザー音とランプ表示」参照）。

電源ケーブルの固定

本製品は付属の電源ケーブルで車両のシガーソケットから電源を供給します。電源ケーブルは、運転の妨げにならない位置に付属のマウントを使うなどして固定して下さい。

※電源ケーブルの配線例です。助手席側から配線する場合は、エアバッグの展開の影響を受けないように十分配慮してください。

マウントの使い方

1.マウント裏面の両面テープの剥離紙をはがして任意の位置に取り付けます。

2.取り付けられたマウントに電源ケーブルを挟みます。

動作確認を行う

初めて起動するときに下記の手順に従って動作確認を行って下さい。

1.正しい設置位置に取り付けられていることを確認して下さい。

2.本体の角度が地面と垂直に近くなっていることを確認して下さい。

3.付属SDカードが挿入されていることを確認してから、エンジンを入れて下さい。[POWER]、[SD CARD]、[READY]のランプが順番に点灯したあと、[READY]が約20秒間点滅し、点灯に変わったときにピーピピと音が鳴ることを確認して下さい。

4.[REC]ボタンを押して、手動記録が作動することを確認して下さい。
[REC]ボタンを押すと[SD CARD]ランプが点滅し、映像等は本体の内蔵フラッシュメモリーにいったん記録されます。記録終了後、映像等は、[READY]ランプが点滅しながらSDカードに転送、保存され、終了すると[READY]ランプが点灯に変わります(点灯状況、映像等の転送は、自動記録でも同様です)。

5.電源ケーブルを外して電源を切り、LEDランプがすべて消灯してからSDカードを抜いて、映像が記録されていることをパソコンで確認してください。
記録した映像の確認方法は、16ページ「記録した映像を確認する」をご参照ください。

⚠ 注意

映像等の転送中([READY]ランプ消灯時)は、自動記録が作動しません。
※最初にドラドラ本体を起動する際には、必ず付属SDカードを挿入したまま電源を入れてください。付属SDカードを挿入していないと、SDカード内のプログラムがドラドラ本体にコピーされず、不具合の原因となります。
ドラドラには、自動記録、手動記録、常時記録の3つの記録モードがあります(6ページ参照)。

ブザー音とランプ表示

動作	状況	ブザー音	ランプの点灯状態	状態／備考
起動	電源を入れた後	ピーピッピピ	POWER SD CARD READY 全て点灯	正常の状態
常時記録[MOVIE]	記録スタート	ピ	POWER SD CARD READY 点滅	[MOVIE]ボタンを押す。電源を入れるだけで、自動で常時記録が始まる設定にも変更が可能。詳しくは25ページをご覧ください。
	記録中	ー	POWER SD CARD READY 点滅	
	記録完了	ピ	POWER SD CARD READY 点灯	[MOVIE]ボタンを押す。
自動記録	記録スタート	ピピ	POWER SD CARD READY 素早く点滅	自動で作動
	記録中	ー	POWER SD CARD READY 素早く点滅	
	記録完了	ピー	POWER SD CARD READY 点灯	
手動記録[REC]	記録スタート	ピピ	POWER SD CARD READY 素早く点滅	[REC]ボタンを押す
	記録中	ー	POWER SD CARD READY 素早く点滅	
	記録完了	ピー	POWER SD CARD READY 点灯	
エラー発生			POWER SD CARD READY 点滅	

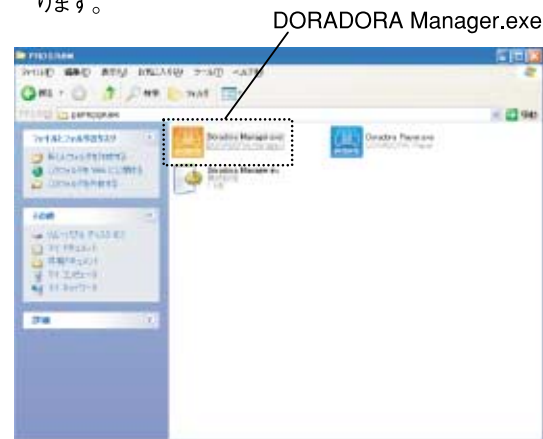
ドラドラを車に取り付ける

記録した映像を確認する

ドラドラで記録した映像等は、SDカード内の「ドラドラ・マネージャー」で閲覧します。
ドラドラ・マネージャーは、パソコンへのインストールが不要の専用ソフトで、SDカード内で直接起動できます。

ドラドラ・マネージャーの起動

1. 市販のSDカードリーダーなどを使用してSDカードをパソコンへ挿入します。
2. SDカード内の［PROGRAM］フォルダを開きます。
3. ［PROGRAM］フォルダ内のオレンジ色のアイコン［DORADORA Manager.exe］を実行します。

※パソコンの設定によっては、最後のファイル拡張子「.exe」が表示されない場合があります。

⚠ 注意

SDカードリーダー（パソコン内蔵の場合はSDカードスロット）は、およそ2005年以前の製造の製品の場合、1GB以上に非対応のものが少なくありません。付属の2GBのSDカードを1GB以上に非対応の機器に接続すると、以下の症状が発生する場合があります。

- パソコンのドライブ一覧には「リムーバルディスク」や「SD」と表示されるが、正常に認識ができない（ずっと読み続ける、「フォーマットされていない」のエラーメッセージが表示される、など）
- ドライブからは問題なく認識できるが、ドラドラ・マネージャーやドラドラ・プレーヤーなどの専用ソフトウェアーでSDカードを認識しない
- 問題なく認識できているように見えるが、2GBのうち1GB分しか認識できない

上記症状が発生した場合は、別途、2GB以上の読み込みに対応するSDカードリーダーをご用意ください。また、パソコンもしくはSDカードリーダーのメーカーホームページ等では、2GB以上に対応するためのドライバの更新ソフトウェアーを配布している場合があります。これを適用することで解決する場合もあります。

ドラドラ・マネージャーの画面

ドラドラ・マネージャーを起動すると、下記のような画面が表示されます。

画面の構成は以下のとおりです。

① ビデオディスプレー ……… この画面で動画を再生します。
② ファイルリスト ……… 検索、または再生したファイルの一覧が表示されます。
③ グラフディスプレー ……… 加速度をグラフで表示します。
④ 進行バー ……… 動画の進行状況を表示します。
⑤ 日時 ……… 再生している動画が撮影された日時を表示します。
⑥ アクセラレーション ……… 加速度を数値で表示します。
⑦ メニューボタン ……… 動画再生などの機能があります。
⑧ 音量 ……… 音量を調整します。
⑨ 各種設定ボタン（24ページ）

⚠ 注意

ドラドラ・マネージャーの使用には、パソコンの画面解像度が、1024×768ピクセル必要です。画面解像度がこれよりも低いと、正しく操作することができません。
この場合、画面解像度が800×600ピクセル以上のパソコンでご利用いただけるドラドラ・マネージャーGDI版をご利用下さい。
ドラドラ・マネージャーGDI版は、ドラドラサイト（http//:www.drive-drive.jp/）にて配布しています。

メニューボタンの機能

ここでは、ドラドラ・マネージャーのメニューボタンの機能について記載しています。

● ファイルを開く

動画ファイルを開くためのアイコンで、複数のファイルを一緒に開くことができます。

● SDカードのデータを開く

SDカード内のすべてのデータを左側のファイルリストに表示します。
ファイルリストの動画ファイルをクリックして簡単に動画を再生できます。

● 検索

動画ファイルを検索します。検索ボタンをクリックすると以下の画面が現れます。

上の画面のようにフォルダのみ指定した状態で確認ボタンをクリックすると、全ての動画ファイルを検索してファイルリストに表示します。

1.最初に、[Set Search Folder] ボタンを押し、ファイルを探すフォルダを指定します。
2.日付別に検索する場合は、記録の最初の日から最後の日を指定して左側のボックスをチェックしてから[OK] ボタンをクリックします。1日だけ検索する場合は1つのボックスのみチェックして下さい。
3.車両番号、運転者名、会社名など、ユーザーセットアップで保存されたデータを選択できます。左側のボックスをチェックした後、[OK] ボタンをクリックします。車両番号、運転車名、会社名などの設定は、「ユーザーセットアップ」(28ページ)をご参照下さい。
4.全ての検索は複数の条件(AND検索)で検索可能です。

● ダウンロード

SDカードの動画ファイルをパソコンにダウンロードする機能です。SDカードをパソコンに接続した状態でダウンロードボタンをクリックすると下の画面が現れます(パソコンにSDカードスロットがない場合は、別途SDカードリーダーが必要になります)。

保存された動画ファイルの中でダウンロードするデータの左側のボックスにチェックします。チェックをしたあと、[OK] ボタンをクリックします。
保存場所選択ウィンドウが出るので、任意の保存場所を設定し[OK] ボタンをクリックします。

ドラドラ・マネージャーのユーザーセットアップ機能で製品番号別に管理者設定値を入力した場合、ダウンロードダイアログ窓の上の部分に製品番号、車両番号、運転者名、会社名が一緒に表示されます。

メニューボタンの機能

● 現在画面の印刷

表示されている画面をプリントアウトします。

● グラフを詳しく見る

加速度をグラフで表示します。

● 加速度データ（Gデータ）の抽出

動画ファイルから加速度（Gデータ）のみを抽出する機能です（テキストファイルが生成されます）。

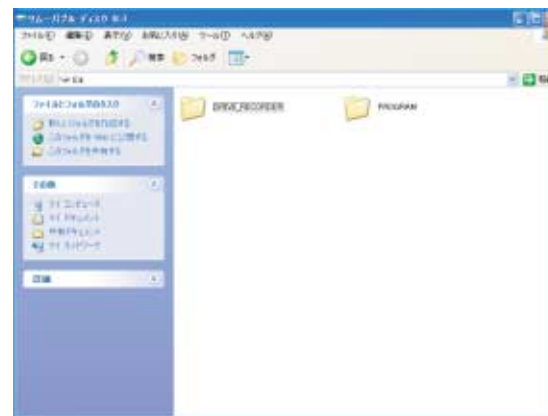
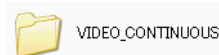
● 再生ボタン

● ドラドラ・マネージャーの情報

ドラドラ・マネージャーのバージョン情報が表示されます。

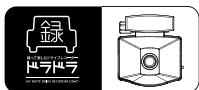
記録された映像の保存場所

ドラドラで記録された映像は、SDカード内の下記のフォルダに収納されています。

1. SDカード内の［DRIVE_RECORDER］フォルダを開きます。

2. ［DRIVE_RECORDER］フォルダ内の［VIDEO_CONTINUOUS］内には［MOVIE］ボタンによる常時記録の映像が、[VIDEO_EVENT] 内には自動記録、手動記録による映像と加速度データが動画ファイル（mp4）として入っています。

3.動画ファイルのファイル名は、記録方法によって、次のように区別して付けられます。

・自動記録 …_G.mp4（30秒間の動画ファイル）
・手動記録 …_E.mp4（30秒間の動画ファイル）
・常時記録 …_M.mp4（撮影時間によって最大60秒の動画ファイルとして複数分割保存）
※パソコン環境によっては、ファイル拡張子「.mp4」が表示されない場合があります。

 注意

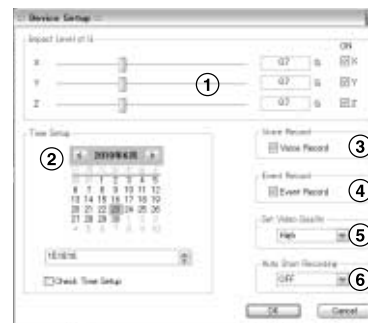
ドラドラ・マネージャーをご利用いただいている限り、映像の閲覧や加速度の確認、ファイルのバックアップなどの作業で、SDカード内にある動画ファイルを直接参照していただく必要はありません。
SDカード内の動画ファイルを直接参照しても、映像は正しく再生できません。ドラドラ・マネージャー、ドラドラ・プレーヤーをご利用下さい。

ドラドラ・マネージャーでの各種設定

ドラドラ・マネージャーでは、記録データの閲覧だけでなく、ドラドラ本体の各種設定を行うことができます。
各種設定は、ドラドラ・マネージャーのデバイスセットアップで行えます。

各種設定方法

SDカードをパソコンに接続し、ドラドラ・マネージャーを起動します。

● デバイスセットアップ

［デバイスセットアップ］ボタンを押すと、ドラドラ・マネージャーの画面上に下記のサブウィンドウが立ち上がります。

① 衝撃検出レベル設定を行えます。（26ページ）

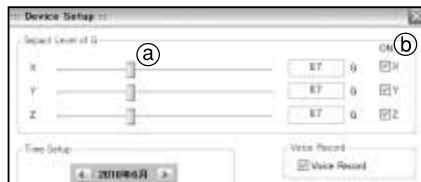
② 日時設定を行えます。（27ページ）

③ 音声保存の有無を設定できます。
※［Voice Record］ボックスをチェックした場合に、音声が保存されます。
※チェックボックスを外し、音声の録音をしない場合でも録画時間は変わりません。

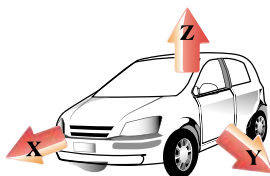
④ 常時記録中の自動記録・手動記録のキャンセル機能
ドラドラが常時記録をしているときの、衝撃による自動記録と、[REC]ボタンによる手動記録ができないようにすることができます。
・チェックボックスにチェックを入れる（工場出荷時）：常時記録中に自動記録・手動記録ともできるようにします。
・チェックボックスのチェックを外す：常時記録中は、自動記録・手動記録ともできないようにします。
※チェックボックスのチェックを外すと、万一の事故の記録も、常時記録による動画ファイルになります。その場合、事故が起きた後もドラドラを長時間稼動していると、事故時の動画が上書きされます。また常時記録による映像データは、本体の内蔵メモリを経由せず直接SDカードに保存されます。したがって、万一、SDカードの映像データが消失した場合、転送機能（29ページ）による映像データの復元はできません。

⑤ 画質をHighまたはMediumに設定できます。
・High：超高画質（工場出荷時）
・Medium：高画質（Highの約2倍の映像ファイル保存可能）

⑥ 常時記録の作動の設定
ドラドラの常時記録の作動方法を設定します。
・OFF：常時記録をするには、ドラドラの電源が入ってから常時記録ボタンを押します（工場出荷時）。
・ON：ドラドラの電源が入ると、自動で常時記録を始めます。

① 衝撃検出レベル設定

衝撃検出レベル設定では、自動記録を開始する際の衝撃レベルを設定できます。衝撃検出レベルは、次の2つの方法で設定できます。
ⓐ衝撃検出レベルの強弱を設定する
ⓑ衝撃検出を無効にする（キャンセル機能）

［設定方法］

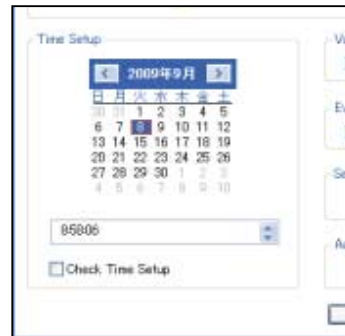
1.ⓐ衝撃検出レベルの強弱を設定する
［Impact Level of G］のXYZ軸それぞれのスライダーを任意のレベルまで移動させます。

X軸 → 車両の前後方向
Y軸 → 車両の左右方向
Z軸 → 車両の上下方向

ⓑ衝撃検出を無効にする（キャンセル機能）
軸ごとに、衝撃の検出をしないための機能です。特に、Z軸（縦揺れ）の衝撃による自動記録の作動をキャンセルしたい場合にお使いください。チェックボックスを外すと、その軸での衝撃検出を無効にできます。

2.［OK］ボタンを押すと、SDカードに衝撃検出レベルが設定されます。
3.SDカードを本体に挿入して、電源を入れます。
4.本体から“ピピピ”とブザー音が鳴ると設定完了です。

⚠ 注意

・本製品は出荷時に適切な衝撃検出レベルが設定されています。通常ご使用の場合は、改めて設定していただく必要はありません。
・衝撃検出レベルの設定は、自動記録に大きな影響を及ぼします。不適切な設定がなされた場合、事故等の衝撃によっても自動記録が正常に作動しない場合があります。ご使用の環境でどうしても必要な場合にのみ、再設定を行ってください。
・チェックボックスが3つともONになっていても、「常時記録中の自動記録・手動記録のキャンセル機能」（25ページ）でチェックボックスを外していた場合、衝撃検出による自動記録は作動しません。
・衝撃検出をX軸で無効にした場合、正面衝突などの前後からの衝撃が検出されません。また、Y軸で無効にした場合、出会い頭の事故など、側方からの衝撃が検出されない可能性があります。X軸、Y軸のチェックボックスを外す場合は、その危険性を十分にご理解のうえ、設定してください。

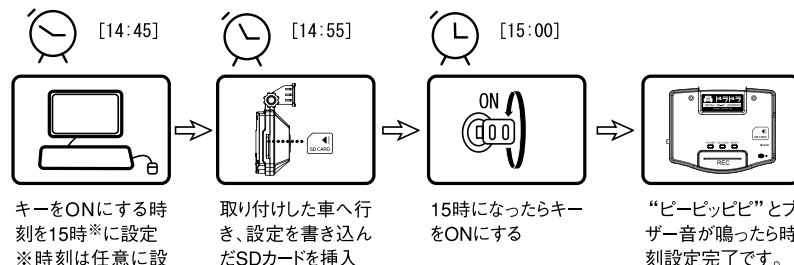
② 日時設定

［設定方法］

1.日付は、カレンダーから選択します。
2.時刻も設定する場合は、本体の電源をONにする時刻を入力します。
（下の例をご参考下さい）
3.［Check Time Setup］ボックスにチェックをつけて、［OK］ボタンをクリックします。SDカードに設定された日時が記録されます。
4.SDカードを本体に挿入して本体に電源を入れます。
5.本体から“ピーピッピピ“とブザー音が鳴ると設定は終わります。

キーをONにする時刻を15時※に設定
※時刻は任意に設定できます

取り付けした車へ行き、設定を書き込んだSDカードを挿入

15時になったらキーをONにする

“ピーピッピピ”とブザー音が鳴ったら時刻設定完了です。

⚠ 注意

・各設定は本体にSDカードを挿入して電源を入れると設定が反映されます。
日時の設定を行う際は特にご注意下さい。
・本体の内部時計は1年間で約30分くらいの誤差が発生する場合がありますので、年間1～2回は時刻を補正して下さい。

ユーザーセットアップ

ユーザーセットアップ

メニューのユーザーセットアップボタンをクリックすると下のダイアログが現れます。
製品番号ごとに、車両番号、運転者名、会社名の設定ができます。

［設定方法］

1.製品番号と車両番号、運転者名、会社名を入力後、［Add］ボタンをクリックして追加します。製品番号と車両番号、運転者名、会社名の中で1つは必ず入力して下さい。
2.リストに追加されたことを確認した後、［Save］ボタンをクリックして保存します。

［設定を削除する方法］

1.リストから削除する製品番号をクリックします。
2.［Delete］ボタンをクリックして削除します。
3.リストから削除されたことを確認後、［Save］ボタンをクリックして保存します。

本体からSDカードへの記録データ転送機能

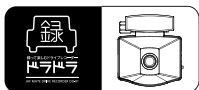
自動記録や手動記録中に電源が切断されるなどして、記録中だったデータがSDカードに保存されていない場合や、SDカードの破損、紛失、フォーマットなどにより、記録したデータを消失してしまった場合は、本体からSDカードへのデータ転送機能を利用することで、データを復元することができます。

状　況	ブザー音	ランプの点灯状態	状 態／備 考
転送スタート	ピピッ・ピッ	POWER SD CARD READY 点滅	［MOVIE］ボタン長押し
転送中	—	POWER SD CARD READY 点滅	—
転送完了	ピーッ	POWER SD CARD READY 全て点灯	待機状態

操作方法

1.本体にSDカードを挿入し、電源を入れます。
2.起動したら、［MOVIE］ボタンを長押しします。
3.ピッというブザー音とともに、［READY］ランプが点滅し、転送が開始されます。
4.転送は数分かかる場合があります。
5.転送が完了すると、ピーッというブザー音とともに、すべてのランプが点灯し、待機状態になります。

⚠ 注意

・復元できる映像は、自動記録と手動記録によるデータに限り、直近の60件分です。常時記録の映像は復元できません。
・すべての映像が復元できることを保証するものではありません。
・事故などの場合、本体内部のフラッシュメモリーが破損するなどして、データ転送ができない場合があります。
・転送機能を利用する際には、必ずSDカード内のファイルのバックアップをとって下さい。バックアップをとらずに転送機能を作動させると、SDカード内のファイルの一部または全部が失われる可能性があります。
・転送機能が作動している間は、映像等データの記録ができません。転送機能は必ず停車時に作動させてください。

その他

ここでは、ドラドラ本体を快適にお使い続けていただくために、必要な情報を記載しています。

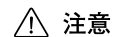
製品のアップグレード

本製品は製品改善のため、ソフトウェアーをアップグレードする場合があります。
アップグレードの情報は、ドラドラサイト（http://www.drive-drive.jp/）でご確認ください。
アップグレードのための作業は、ご自身でお願いします。出張等によるアップグレードサービスは行っていません。

新しいSDカードを購入したら

新しくSDカードを購入した場合は、下記の手順に従って使用して下さい。

1.SDカードをパソコンに接続しフォーマットします。
2.フォーマットしたSDカードをドラドラ本体に挿入して電源を入れてください。
3.この際、[READY]ランプが点滅し、通常の起動よりもしばらく時間がかかりますが、やがてブザー音とともに準備完了となります。
4.SDカードに、ドラドラ・マネージャーとドラドラ・プレーヤーを含む必要なソフトウェアーがすべてセットされ、記録可能な状態となります。

⚠ 注意

新しくSDカードをご購入になる際は、ドラドラ付属SDカードと同じものをご購入下さい。付属SDカード以外のSDカードは、動作保証外となります。

故障かな?と思ったら、次のチェックを行って下さい。

● 本体について

症　状	チェック方法
映像が記録されない	本体にSDカードが挿入されているかご確認下さい。
	付属のSDカードであることをご確認下さい。市販の動作保証外のSDカードでは記録されない場合があります。
	SDカード側面のツマミが「LOCK」側にあると、本体の［SD CARD］ランプが消え、SDカードへのデータ記録もされません。本体の電源を切り、SDカードを抜いてツマミの状態をご確認下さい。
	衝撃検出レベルの設定によっては軽い衝撃を検出せず、記録しない場合があります。
映像の品質が良くない	本体のレンズが汚れていないか確認し、汚れていた場合はメガネ拭きなど柔らかい布でレンズを拭いて下さい。また、車両のフロントガラスの汚れも映像に影響を与えますので、ワイパーなどを使用し、なるべくきれいに保つようにして下さい。
本体の［POWER］ランプが消えている	本体の電源ケーブルが正しく接続されているかご確認下さい。
	本体からSDカードを抜き出して電源を入れるか、電源を入れても正常にならない場合はSDカードをフォーマットした後、再度電源を入れて下さい。 SDカードをフォーマットすると、中にある動画はすべて消去されます。動画は必ずフォーマット前にパソコンに保存するようにして下さい。

また、ボタンを押しても反応しない、POWERランプ点滅［エラー発生］などの不具合が生じた際は、リセットボタン（5ページ参照）を押して下さい。
上記方法で問題が解決しない場合は、下記ホームページのFAQをご参照いただくか、お電話にて状態をお知らせ下さい。

■ドラドラサイト FAQ **http://www.drive-drive.jp/**

■JAF MATEサポートセンター **0570-088-108**

ナビダイヤルがご利用になれない場合は、03-3513-6564

土日祝を除く10時〜13時、14時〜17時

● ソフトウェアー（ドラドラ・マネージャー、ドラドラ・プレーヤー）について

症　状	チェック方法
ソフトウェアーの起動または映像再生ができない	ソフトウェアーが動作するために必要な要求スペック（35ページ参照）を満たしているか確認して下さい。お使いのパソコンが必要スペックを満たしているにもかかわらず、映像が再生できない（音声のみ再生される）などの不具合が発生したときは、お使いのパソコンの環境が、ソフトウェアーで映像の処理に利用している「Direct Draw（ダイレクトドロー）」という機能に対応していないことが考えられます。この場合、汎用的な「GDI（ジーディーアイ）」を利用するドラドラ・マネージャーGDI版、ドラドラ・プレーヤーGDI版をご利用いただくことで解決する場合があります。GDI版のソフトウェアーはドラドラサイト（http://www.drive-drive.jp/）でダウンロードできます。
記録時間が短い映像がありますが故障ですか	起動直後や映像の記録直後など記録前の映像がない場合、記録時間の短い映像が記録されることがありますが、故障ではありません。
ソフトウェアーでSDカードを認識しない	SDカードリーダー（パソコン内蔵の場合はSDカードスロット）は、およそ2005年以前の製造の製品の場合、1GB以上に非対応のものが少なくありません。付属の2GBのSDカードを1GB以上に非対応の機器に接続すると、正常に認識しない不具合が発生する場合があります。この場合は、別途、2GB以上の読み込みに対応するSDカードリーダーをご用意下さい。 また、パソコンもしくはSDカードリーダーのメーカーホームページ等では、2GB以上に対応するためのドライバの更新ソフトウェアーを配布している場合があります。これを適用することで解決する場合もあります（ドライバの更新は自己責任でお願いします）。
ドラドラ本体にSDカードが挿入されているのに、アラート音が10回鳴り、［SD CARD］ランプが点灯しない。	ドラドラ本体が、SDカードにアクセスできない状況を示します。この状態で［MOVIE］ボタンを長押しすると、SDカードをフォーマットすることができ、ドラドラ本体がSDカードを認識、［SD CARD］ランプが点灯状態に復帰できることがあります。なお、この機能を作動した後は、ドラドラ本体は自動で再起動します。再起動し終わるまで数分程度、そのままお待ち下さい。 フォーマット機能を作動しても、［SD CARD］ランプが点灯しない場合、SDカードに不具合の原因がある場合があります。ドラドラ付属SDカードと同じSDカードを新規にお買い求め、お試し下さい（付属SDカード以外のSDカードは、動作保証外となります）。 ※SDカードをフォーマットすると、録画した映像などの記録データは一切消去されます。いったん消去されたデータは復旧することはできません。

ランプ表示について

［ランプ表示内容］

ランプ	状　態	内　容
POWER	消　灯	電源が入っていません。または故障です。
	点　滅	本体に異常があります。
	点　灯	電源またはバッテリーによって作動中です。
SD CARD	消　灯	SDカードが挿入されていません。またはSDカードを認識できません。
	点　滅	記録された映像をSDカードに保存中です。
	点　灯	SDカードが正常作動中です。
READY	消　灯	映像の記録ができません。本体の故障、SDカードのエラーなどが原因です。
	点　滅	内蔵フラッシュメモリーに記録された映像をSDカードに保存しています。
	点　灯	待機状態です。正常に作動していて、いつでも映像を記録できます。

製品仕様

● 本体

電源電圧	DC12V／24V
最小可動電圧	8V
最大可動電圧	36V
消費電力	3W
作動温度範囲	-20℃～70℃
保存温度範囲	-40℃～85℃
フレーム数	最大 27 フレーム／秒
レンズの画角	水平 96°垂直 72°
記録映像サイズ	640 × 480ピクセル
バックアップ電源	5.0 V
内部メモリー	フラッシュメモリー（1GB）
付属メモリーカード	SDカード（2GB）
本体サイズ	88（w）×88（h）×35（t）mm
本体重量	115g

● 専用ソフトウェアー（ドラドラ・マネージャー、ドラドラ・プレーヤー）の動作条件

- OS ………… Windows XP、Vista
- メモリ ………… 256MB RAM
- ハードディスク ………… 32MB以上
- CPU ………… Pentium4　1.5GHz以上推奨
- 解像度 ………… 1024×768ピクセル以上